

Consec Group Green Road

CONSEC 株式会社コンセック



トップメッセージ

当社は1967（昭和42）年創業以来、長きにわたり土木建設関連企業として、社会のニーズに応えてまいりました。ステークホルダーの皆様にご支援、ご愛顧いただき今日まで成長することが出来ました事を心より感謝申し上げます。

当社グループは、「最高の信用」「最高の技術」「最高の品格」を経営理念とし、不断の努力を怠ることなく成長を図るとともに、「環境」「社会」「ガバナンス」の観点から自己を見つめなおし、ステークホルダーの皆様と共に持続可能な社会の実現に取り組めます。

この理念のもと、「サステナブルな事業活動」を通じ、持続的な企業価値の向上を目指します。また、人権の尊重、法令遵守を徹底し、地域社会の一員として豊かで安心できる社会づくりに貢献します。

これからも、ステークホルダーの皆様から更なる信頼、ご期待いただけるよう、当社グループは安全性と自然環境に配慮した新製品・新技術等を開発し、事業強化や変革に積極的に挑戦してまいります。



代表取締役社長

福田 多喜二

サステナビリティ宣言(企業行動指針)

当社グループは、地球温暖化などの環境問題への取組みが企業の社会的責務であることを認識し、事業活動を通じて環境保全活動に積極的に取組むとともに、企業の経済成長を両立し「100年企業」を目指して持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

そのため、当社グループにおいては、環境・社会問題への配慮及びガバナンスの強化（ESG）並びに持続可能な開発目標（SDGs）の達成に取組み、それらを自らの成長に繋げるサステナビリティ経営に取組み、持続的な企業価値向上を目指します。

1. 環境問題への取組

環境問題への取組みは企業の社会的責務であり、課題解決に積極的に取組みます。

2. 人権の尊重

事業活動においては全ての人の人権を尊重し取組みを推進します。

3. 計画的な人材育成

社員一人ひとりの個性を尊重し、計画的な人材育成に注力します。

4. 職場環境への配慮

職場の安全管理を徹底するとともに、明るく風通しの良い職場環境を醸成します。

5. 健康経営の推進

従業員の健康維持を最重要課題と考え健康経営を推進します。

6. 法令・社会規範の遵守

法令・社会規範を遵守し、透明性・健全性の高い事業活動を実践します。

7. 地域社会への貢献

地域社会の一員として積極的に地域活動に参加して社会貢献に努めます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



サステナビリティ推進体制（委員会の設置）

当社グループでは、サステナビリティを巡る課題への取組みは企業の社会的責務であり、事業活動を通じてその社会課題解決に取り組むことは、企業の成長を促し持続可能な社会の実現にも貢献するものと認識しております。

その為、現在当社グループにおいては、環境・社会問題への配慮及びガバナンス強化（ESG）、並びに持続可能な開発目標（SDGs）の達成に取り組むこと、それらを自らの成長につなげるサステナビリティ経営に取り組む事としています。

当社グループでは、グループ内にサステナビリティ課題への主体的な取組みを進めるべく、サステナビリティ委員会を設置しました。

サステナビリティ委員会では当社グループ内のサステナビリティに関する方針策定、戦略策定、進捗状況のモニタリング、達成状況の評価を行います。

サステナビリティ委員会は定期的（原則年2回）に開催し、取締役会は当該委員会からの報告を基に管理・監督を行います。

当社グループは、「サステナビリティ基本方針」のもと、コンセック取締役社長を委員長（責任者）としてサステナビリティを巡る取組み全体を推進しており、サステナビリティを巡る取組の状況・結果、ならびにこの体制の有効性を取締役会が適切に評価・監督を行う事で実効性を確保しております。



環境への取組みに対する考え方

環境経営方針

1. 理念

当社グループは、地球温暖化などの環境問題への取組みが企業の社会的責務であることを認識し、事業活動を通して環境保全活動に積極的に取組むとともに、企業の経済成長を両立し「100年企業」を目指して持続可能な社会の実現に貢献します。

2. 行動指針

- (1) 安全で地球環境に優しい工具・機械・工法の研究開発に重点的に取組みます。
- (2) リサイクル・省資源・省エネルギーに積極的に取組み、環境保護に努めます。
- (3) 日々の事業活動において発生する廃棄物の最小化と汚染の予防に努めます。
- (4) 環境マネジメントシステムを構築し、環境目的・目標の設定とレビューを行い、システムと環境パフォーマンスの継続的改善を図ります。
- (5) 環境に関する法律・規制・協定などを順守します。
- (6) 全従業員に環境経営方針に関する教育を行い、環境に対する理解と意識の向上を図ります。
- (7) 環境経営方針や環境経営の成果を公表し、環境コミュニケーションの充実を図ります。



コンセックの人材育成について

人材育成方針

当社グループは「最高の信用」「最高の技術」「最高の品格」を経営理念としており、それを実践していくには、社員一人ひとりの人材力が不可欠です。

当社グループでは、社員の成長が私たちグループの成長であるとの考えの下、人事制度や人材育成施策を継続的に改善するとともに、社員一人ひとりの個性を尊重し、計画的な人材育成に注力します。

方針実現のための施策

(1) 人材育成の強化

社員階層別研修の充実を図るほか、外部講師による研修会への積極的な参加を促します。また、資格取得支援制度等を活用し、キャリアアップの積極的なサポートを行います。

(2) 職場環境の改善

各自が自律的に成長し、十分にその能力を発揮できるよう、アットホームで働きやすい職場環境を醸成します。また、有給休暇の取得促進やフレックスタイム制度の活用など、働き方改革に積極的に取り組みます。

(3) 人事制度改革

高年齢者が豊富な経験を活かし、シニアアドバイザーなど働きがいのある多彩な働き方のできる人事制度を構築し、従業員エンゲージメントの一層の向上を目指します。また、ジョブローテーション制度を促進し、個々のスキルアップを図るとともに、複線型人事制度を活用し、社員の適性を活かしつつライフスタイルに即したキャリアを選べる組織づくりに努めます。



コンセック人権方針

私たちコンセックグループ（以下「当社グループ」と言います。）は、事業活動を通じ全ての人の人権を尊重する責任を果たすため、以下のとおり「コンセックグループ人権方針」（以下「本方針」と言います。）を定めます。

1. 人権に対する基本的な考え方

当社グループは、「国際人権章典」「労働における基本的原則及び権利に関するILO宣言」等の人権に関する国際規範を支持、尊重します。本方針は、これらの規範及び国連「ビジネスと人権に関する指導原則」を基に、当社グループ及びその役員が人権尊重の取組みを推進します。

2. 適用の範囲

本方針は、当社グループの全ての役員及び従業員に適用します。また、取引先のお客様及びビジネスパートナーに対しても人権尊重の働きかけに努めます。

3. 人権の尊重

当社グループは、人種、民族、国籍、出身地、社会的身分、性別、婚姻の有無、年齢、言葉、障がいの有無、性的指向・性自認及び職種や雇用形態の違い等に基づくあらゆる差別をすることなく人権を尊重します。また、適正な労働時間管理を行い安全で働きやすい職場環境を提供するとともに、いかなる形態の強制労働及び児童労働も認めません。

4. 人権尊重責任の遂行

当社グループは、自らの事業活動を通じて直接又は間接的に人権に影響を及ぼす可能性があることを理解し、人権への負の影響が生じた場合は、是正に向けて適切に対処します。

コンセック人権方針-2

5. 教育・研修

当社グループは、本方針をグループ全体に浸透させ、それぞれの事業活動に組み込まれ定着するよう、役員及び従業員等に対して適切な教育と研修を行います。

6. 救済措置

当社グループが人権に対する負の影響を引き起こした若しくはこれに関与したことが明らかになった場合、又はビジネスパートナーを通じた関与が明らかになった場合には、適切な手段を通じてその救済に取り組みます。

なお、人権問題に関する通報等に当たっては、通報者の秘密を厳守するとともに、通報者に対する不利益な取り扱いを禁止し、通報者の保護を徹底します。

7. 情報開示

当社グループは、本方針に基づく取組み状況について適切に情報開示を行います。

